

火山活動評価検討会  
中長期的な噴火の可能性の評価のための検討結果

中長期的な噴火の可能性の評価に資するために、平成 28 年度以降、気象庁が 11 火山※を対象に取り組んできた追加調査の結果が報告された。

この調査報告によると、中之島については、山体付近のまとまった地震活動と高温の火山ガス（二酸化硫黄）の継続的な放出が確認されている。これらのことは、中長期的な噴火の可能性を示しているものと考えられ、監視・観測体制の充実等の必要な火山としての条件を満たしているものと判断される。これ以外の火山においては、中長期的な噴火の可能性を評価するまでは至らなかったが、今後も、火山活動の変化の状況や、異常時の対応が適切に行えることを適宜確認することが重要である。

※11 火山：知床硫黄山、羅臼岳、摩周、丸山、恐山、鳴子、沼沢、開聞岳、池田・山川、口之島、中之島